

# 「一緒にたたかいたい」労働者が相次ぎ入党

## 日本共産党・躍進のつどいに170人

日本共産党と  
彦根・犬上後援会



激励に応える川内、宮本近畿ブロック比例代表

日本共産党彦根・犬上後援会と日本共産党は10日、夜7時からひこね文化プラザで、「躍進のつどい」を開き、170人のみなさんが、川内たかし党県書記長や宮本たけし衆議院・比例代表らの話に聞き入り、熱気あふれるつどいとなりました。

**困ったときこそ手をのびてくれたのは共産党だけ**

集会の冒頭、「彦根古城太鼓」のみなさんが威勢のいい太鼓を打ち鳴らされたあと、「つどい」がはじまりました。

高瀬俊英会長の開会あいさつに続き、派遣切りにあつた労働者や、労働災害で休業中の労働者ら4人が登壇。山内善男市委員長の司会で、それぞれ派遣労働者として働かざるをえなかつた事情や、3年以上、働いてきたのに、解雇基準もあいまいなまま解雇された状況を生々しく告発しました。

決して泣き寝入りするのでなく、滋賀県労連の一般労組に加入し、解雇撤回や、派遣先に対して

労働局へ直接雇用の指導を求めている状況などを報告。「自民党、民主党には相手にされなかつた」と語り、支援を訴えました。会場からは「がんばれよ」の声や拍手がおくられ、つどいのあと、「いっしょにたたかいたい」と入党を申し込む人が続きました。

32歳の男性労働者も、「政治を変えるのは日本共産党しかない。弱者を守る視点は共産党にしかない。私の信念として生きたい。誤解していた部分もあり自民党を支持してきた。でも困つたとき手をさしのべてくれたのは共産党だけです」と語り入党申込書にサインしていただきました。

川内たかし氏は、衆議院比例代表として彦根市内のいくつかの福祉事業所と懇談し、事業所からの訴えを紹介。障害者自立支援法を廃止し誰もが安心して生活できること。介護労働者の労働条件の改善。利用しやすい介護保険制度などのためにも日本共産党を伸ばしてほしいと訴えました。

### 「命を守るネットワークを大きく」

宮本たけし衆議院比例代表は講演で、参議員時代、サラ金の高利と「体」をはつてたかたかた経験を紹介。巨悪とたたかう日本共産党の気概を語り、雇用問題でも「内部留保のごく一部で労働者を雇用できる。それをもつたない」という御手洗日本経団連会長を国会に呼びたい。財政的に

### 参加者アンケートから

当日、参加者のみなさんからアンケートをいただきました。ご協力ありがとうございました。一部を紹介します。

#### 宮本さんの話について

1、日本共産党はすごいことをしてきたんだと思いました。話がわかりやすかつた。

2、大阪の人のようですが、滋賀の人も助けて下さい。

3、富士の話がよかつた。旧商工ローンの過払い逃れ追及も期待しています。

4、共産党の目指していることを詳しく、おもしろく話してもらつてよかつたです。

#### 日本共産党について

1、「もし日本に共産党がなかったら…」と考えるとその大切さがわかる。さらに強く、大きく、広くなつてほしい。

2、日本共産党が中心の国づくりをしてほしい。

### 福祉労働者からの訴え

(竹田さんの訴え要旨)

彦根から4人の障害者の方が「働きに来てい

るのにお金を払わされるのはおかしい」と訴訟

され、その中のひとり

が私と一緒に働いている方でした。

「ぜいたくでなく、普通の暮らしがしたいだけ」との訴えは心にひびきました。

障害のある方の働きがいや、生きがいさえも奪っている政治を、日本共産党といっしょにかえていきましよう。

3、政治に無関心な私達も助けてもらえて感謝しています。

4、気持ちの良い国会質問がうれしい。

当日、会場での募金は48人のみなさんから、5万3536円いただきました。ありがとうございました。

も国民のみなさんからの募金や赤旗新聞で支えられ、企業献金を受けない日本共産党にしかできない「日本共産党は命を守るネットワーク。入党して大きくしてほしい」と訴えました。